

下水道

Q 今後の下水道事業は

A 整備エリアの加入促進に取り組む



山下 茂 議員

加入促進に力を入れていきたいと考えています。加入促進の周知については、公式LINE等を活用して、コロナ禍の新たな周知方法にも取り組みたいと思っています。

山下 加入率や処理人口などの目標値や全体計画について伺う。

町長 下水道事業の経営状況の悪化は、企業会計に移行し、より鮮明になった。矢部川流域下水道3市1町も同じ様な状況。令和3年度から令和12年度までの下水道事業経営戦略を策定している。全体計画の目標値に向かって努力していきたいと考えている。

山下 目標に達成に向けて、加入率の向上が必要と思われるが、加入促進の体制と周知方法について伺う。

町長 積極的に個別訪問等を行い、促進を図っていききたい。特に、今年度工事エリアについても、早急なアプローチと下水道と合併浄化槽との比較等の説明、現地での相談など、積極的に促進を行っていく。特に、未接続者には補助金等、説明を行

山下 上下水道計画における人材育成や確保について伺う。

町長 上下水道部門の専門職の必要性和育成や確保には危惧している。5か年計画で、年2名の資格取得を予定し、人材の確保・育成を進めている。

山下 水洗便所等改造資金補助金について伺う。コロナ禍で物資不足のために工事の遅延やコスト高の話聞くが、今後、補助金の対象期間の延長や金額の増額等考えはあるか。

町長 公平性並び歳出制御のため考えていない。経済状況等が悪化すれば検討するが、現状考えていない。

山下 推進対策としてモデル地区の策定等の考えはあるか。

町長 個人情報問題や区長・衛生班長への業務負担増など懸念される。悪臭問題や側溝の危険箇所等の問題は建設課などと協力して対応していきたいと考える。

稲作営農

Q 稲作の現状は

どのような

A 大変に厳しい状況にある

竹下 過剰な貯蔵米やコロナ禍の影響による米消費量の更なる減少により、今年の生産者米価は特に厳しい状況にあるが、町としての対応は何かあるのか。

町長 国や県の米施策に準じて生産者と一体となり、ブランド力強化、販売取組、多用途米への転換等を通じ、県産米の価格の安定、需要に応じた米生産を推進する。



竹下 英治 議員

竹下 令和3年2月の福岡県都市計画審議会において、議案の本身が不十分として審議保留とされたことへの対応はなされているのか。

町長 広川町では地域の盛り上がりがないと指摘を受けたことへの対応として、八女市と協議し、両者が一緒になった

国道3号バイパス整備促進協議会を令和3年内に設立

予定である。

竹下 上広川小学校に係る指摘に関して、3号バイパスを小学校に当て

とを要望したのか、それとも、広川町長のいずれな

Q 関係業務が止まっているが

A 整備促進に努力する

町長 国として総合的に勘案した結果、3号バイパスのルートが選定されたと聞いている。

竹下 整備促進協議会の設立も良いが、福岡県都市計画審議会結果の内容を真に見極めないとならぬ。今後の整備促進努力も徒労に終わる可能性があるのではないか。



農振除外された水田